

《 第12回 広報実践総合講座 》

Part.1 実践 広報担当の基本と実務

Part.2 危機管理と広報の実際

■日 時■ part 1 2014年 11月5日(水) 13:00~17:00
part 2 2014年 12月11日(木) 13:00~17:00

■会 場■ 企業研究会セミナールーム(東京・麹町) TEL 03-5215-3515

■講 師■ 株式会社ハーバーコミュニケーションズ 代表取締役 五十嵐 寛 氏

【講師紹介】1994年神奈川大学経営学部国際経営学科卒業(広報専攻)。同年㈱ブラップジャパン入社。2001年、ヒルアンドノウルトンジャパン(株)入社。2004年からフリーの広報コンサルタント、ライターとして独立。同年3月から個人事業「ハーバーコミュニケーションズ」を立ち上げる。2006年、同事業を株式会社に法人化。現在、クライアント企業と直接契約を結ぶほか、複数の広報代理店と契約中。著書に、『実践マニュアル 広報担当の仕事』(2004年)、『実践マニュアル 危機管理と広報』(2007年ともに東洋経済新報社)がある。

◆ 開催にあたって

ここ数年、日本においても企業広報の重要性が認識されるようになり、地道な「広報」活動が改めて注目を集めています。そして、非常時における広報の動きが、企業の命運を左右するというところを多くの方が意識されているのではないのでしょうか。本講座では、2回のシリーズで「広報の基本」とこれからの時代必須となる「危機管理広報」について解説をいたします。

part.1では「広報とは何か」からはじまり、「リリースの書き方」、「取材対応」など実践的な演習を交えて解説いたします。part.2では非常時における「マスコミ対応の基本」から「緊急時の記者会見」、「平時の準備」について豊富な事例やグループ演習などを交えて詳解いたします。自社ならびにご自身にとっての、広報の基本の習得とスキルアップの場としてご活用ください。

両日参加●受講料●1名(資料代含)

正会員	58,320円	本体価格 54,000円
一般	64,152円	本体価格 59,400円

一日参加●受講料●1名(資料代含)

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

- 申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAXいただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
- 会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。
- お申込み後のキャンセルは原則としてお受けいたしかねますので、お申込者をご出席できない場合には、代理の方のご出席をお願い申し上げます。
- 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますことでもありますので、ご了承下さい。

一般社団法人企業研究会

担当: 倉島 E-mail: kurashima@bri.or.jp
東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 31MT ヒル 2F
TEL 03-5215-3515 FAX 03-5215-0951

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

*当会ホームページ(<http://www.bri.or.jp>)からもお申込みいただけます。
*FAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

141528-0404	※	2014.11.5・12.11	
申込書		第12回 広報実践総合講座	
会社名	フリガナ		
住所	〒		
ご氏名	フリガナ	所属	役職
TEL	FAX		
E-mail			

*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

広報実践総合講座

11月5日(水)・12月11日(木)

● プログラム ●

11月5日
13:00

「実践 広報担当の基本と実務」

1. 広報の基本
2. リリースの書き方

1日のみの受講、
また、両日申込で
出席者の変更も
可能です。

【演習】 プレスリリースの書き方演習とグループディスカッション

3. 取材対応とパブリシティ
 - ・ 広報の受けと攻め
 - ・ 取材対応（インタビュー）の勘所
 - ・ 攻めのパブリシティの流れとポイント
 - ・ メディア対応のすべきこと・しないほうがいいこと

【演習】 シチュエーションごとの対応をクイズ形式で学ぶ

4. 広報戦略と年間広報プラン ～ターゲットとメッセージの構築～
 - ・ 広報戦略と戦略的広報
 - ・ 広報計画の策定
 - ・ スリーチャートで考える戦略的広報
5. 危機管理広報
 - ・ 危機管理と広報
 - ・ 事例研究
 - ・ 緊急時のマスコミ対応のポイント

17:00

12月11日
13:00

「講義と演習で学ぶ」 危機管理と広報の実際」

1. マスコミ対応の基本
 - ・ 最近の事件・事故報道の傾向
 - ・ 他社の「一言」失敗例、他社の好例
 - ・ 危機管理と初動対応の原則
 - ・ 事件記者とは
 - ・ 記事ができるまでの流れ
 - ・ 初動時にマスコミ対応すべきこと
 - ・ ポジションペーパーの重要性と更新
 - ・ 「言える、言えない」の整理
 - ・ 質問回答時のコツ
 - ・ 電話を受ける場合の注意点
2. 緊急時記者会見
 - ・ 緊急記者会見の流れ
 - ・ お詫び会見時の注意点、緊急会見の準備
 - ・ 緊急会見の本番における注意点
 - ・ 会見終了後の対応ポイント

【演習】 模擬記者会見ロールプレイ（広報担当者役と記者役のそれぞれの立場をロールプレイし、実際の記者会見の状況が体験できる演習です）

3. 平時の準備
 - ・ 緊急連絡網と報告ルート
 - ・ リスク意識向上のための啓発活動の実施
 - ・ 広報インフラの確認・補強
 - ・ リスク洗い出し、評価、想定問答など
 - ・ 危機対応体制の構築（マニュアル作成）
 - ・ 危機管理広報マニュアルについて
 - ・ 事態レベルの導入
 - ・ ソーシャルメディア

17:00

※内容は一部変更する場合がありますので予めご了承ください。